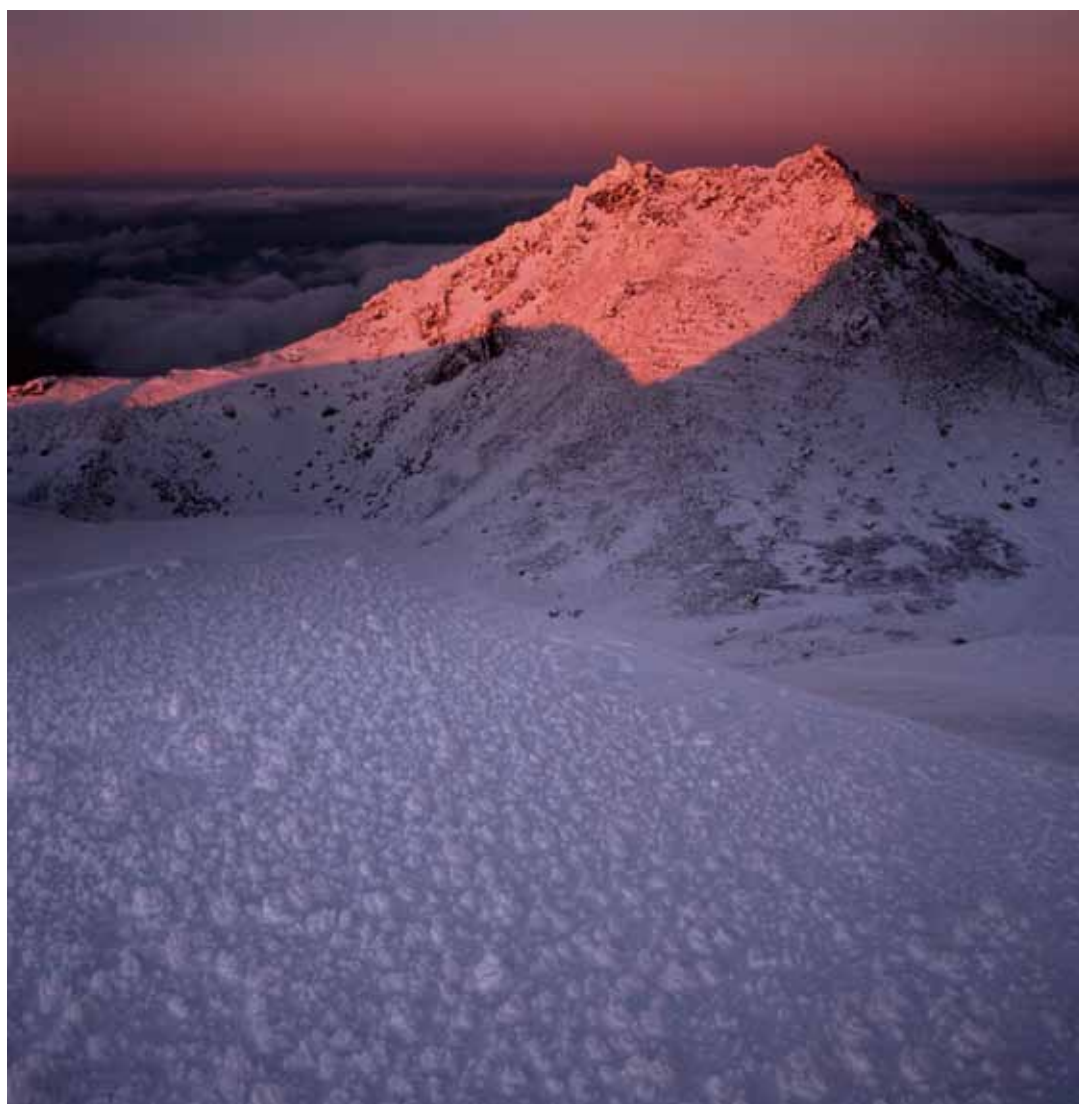


福 井 県 医 師 会

だより

第714号 令和2年(2020)12月



残照剣ヶ峰 福井市 石黒 信彦

表紙写真説明：残照剣ヶ峰

福井市 石黒 信彦

11月にもなると白山は雪になる。月半ばを過ぎると、白山公園線の白峰ゲートが冬期閉鎖されるが、その前の快晴の日曜日に登った。日没が近づくとつれ西の空が焼け、雪をまとった剣ヶ峰が刻々と赤く染まってきた。

醫 縫 録

コロナ禍の最中に思うこと

福井県医師会代議員会議長 三 崎 明 孝



私儀、昨年6月の福井県医師会代議員会において、新たに議長に選出されました。大変光栄なことであると共に、国難とも言うべき新型コロナウイルスとの日々変化する闘いの最中、責任の重さを痛感している次第です。

人類の歴史は、病原体との闘いの歴史という一面も持っています。

太古の昔、アフリカの熱帯に生まれた人類は、ツエツエバエ媒介のトリパノゾーマが原因の業病、ねむり病から逃れるため、より寒冷な地への移動を開始したことが人口増をもたらし、発展を遂げたと言われています。サバンナの草食動物などにはこのトリパノゾーマに対する免疫があるにもかかわらず、人類は獲得出来なかったということで、疾病を克服するのではなく忌避するという考え方が発展につながったようです。

以来さまざまな病原体、感染症との闘いが広げられてきました。黒死病と言われ、西洋の人口を半減させたと言われているペストは中世来より500年以上にわたり何波もヨーロッパを襲い、猖獗を極めたことをご存じの通りです。この時期に感染者の隔離という概念が生まれました。

今回のコロナ禍に対しても、以前からの経験を生かして、様々な対策が採られています。消毒・手洗い・密集回避等公衆衛生的観点に感染症スペシャリストや医師会からの提言が重用されました。

逸早い緊急事態宣言やPCR検査の拡充は、医師会独自の取り組みとして、社会に好意を持って受け止められました。

福井県医師会においても、池端会長陣頭指揮のもと、PCR検査、隔離施設への篤志医師の派遣など迅速な対応がなされていることに、頭が下がる思いです。

新型コロナウイルス感染がいずれ収束をみるであろうことは、これまでの感染症の歴史からも明らかです。しかし、遅いか早いかは社会の感染拡大防止への取り組み方如何です。安全かつ有効なワクチン接種による人為的集団免疫の獲得をみるまで、頻回な社会活動規制の導入を繰り返さねばこの感染症の蔓延は防げないと言われています。

後漢・魏初の名医華佗は、腕前を称賛されると、疾病の発生を防ぐことの出来る者こそ本当の名医だとの意を述べたそうです。

島国でありながら水際の感染伝播阻止に失敗しただけでなく、医療側からの反対意見があったにもかかわらず、緊急事態宣言の早期解除、GoToトラベルの推奨は経済活動の活性化や、人々の精神的抑圧のガス抜きのためには分かりませんが、第二波の増大を招いてしまいました。社会における名医は、そう存在しないようです。

我々医師、医師会は、国民の健康を守るため、努力を惜しまず社会に警鐘を鳴らし続ける必要があります。

今後とも、福井県医師会員総員の代弁者として職責を果たす所存です。皆さまよろしくお願ひ申し上げます。